

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	岡崎 佳治	地域企画課	企画・しらか み観光振興 班	畠中 和明	0185-55- 8004	あきた白神観光DMOと連 携した広域による誘客促 進事業	管内におけるインバウンド 誘客の増加を目指す観光 地域づくり法人(DMO)と 連携し、観光・宿泊関係事 業者における受入態勢の 強化を図る。	1,943,976	直営・委託	●あきた白神の情報発信やファミツアーの共 同実施事業(DMOとの共催事業) ・モニターツアー・ファミツアーの共同実施 □開催日: 令和元年9月25日(水)～26日(木)、 10月2日(水)～3日(木)、10月16日(水)～17日 (木)、令和2年1月31日(金)～2月1日(土) □参加者: 延べ9社、9人 ・県が主催する旅行博等でのプロモーション □開催日: 令和元年6月3日(月) □場所: JRタワー&カンファレンス(東京都 内) □参加者: 173名	県、DMO	観光関連事 業者、留学 生	平成31年4月1日	・ファミツアーで現地を訪 れたインバウンド系旅行 会社等の外の目線からイ ンバウンド誘客を促進す る上での課題等を明らか にし、観光・宿泊関係事 業者にフィードバックするこ とで、受入態勢を強化する 契機となった。	・旅行商品を造成するイン バウンド系旅行会社等の ニーズを踏まえた受入態 勢の充実に向け、DMO等 と連携し、管内全域の底 上げが図られるよう継続し て取り組んでいく必要があ る。
						平成31年4月1日～ 令和2年3月31日				●外国人旅行者おもてなし研修事業(DMOと の共催事業) ・宿泊研修 □実施日: 令和元年7月13日(土)、10月5日 (土) □参加留学生: 14人(台湾、タイ、中国、ロン ア、スロバキア、米国他) □対象: 藤里町の農家民宿5軒 ・報告会 □実施日: 令和2年2月28日(金) □場所: 八竜地域農村環境改善センター □参加者: 能代山本管内の観光関連事業者 40名			令和2年5月20日		

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	岡崎 佳治	地域企画課	企画・しらか み観光振興 班	畠中 和明	0185-55- 8004	白神山地観光を核とした 着地型観光の推進と受入 態勢の強化事業	世界自然遺産白神山地の 多様な魅力を地元の人が 広くアピールする等、白神 山地への誘客促進、自然 保護及び地域活性化を推 進する事業を実施する。	1,600,871	直営・委託	●登山・トレッキング関連事業者と連携したプ ロモーション ・首都圏の登山イベントでの白神山地PRの実 施 □開催日: 令和元年5月10日(金)～11日(土) □場所: 秋葉原UDX(アキバスクエア) □来場者: 約1,800人 □相談件数: 約80件 ●(一社)日本旅行業協会・(一社)全国旅行 業協会主催のエージェント向けセミナーでのプ ロモーション □開催日: 令和元年11月27日(水) □会場: (一社)日本旅行業協会(東京都千代 田区) □来場者: 56名 ●「ブナの学校」現地校の実施 JR東日本・青森県と共同で、大人の休日倶楽 部趣味の会「世界自然遺産白神山地ブナの学 校東京校」を開催するなどの誘客PRを行っ た。 ・東京校 白神山地の魅力をテーマに深く掘り下げる計 3回の講義形式で講座を実施(植物、マタギ 酒、酵母パン、工芸品、自然) □開催日: 令和元年9月3日(火)、9月11日 (水)、9月19日(木) □会場: ステーションコンファレンス万世橋(東 京都千代田区) □参加者: 58人(定員60人) ・現地校 【グリーンシーズン】 □開催日: 令和元年6月27日(木)～29日(土) □コース: 岳岱・藤里駒ヶ岳ほか □参加者: 19人(定員25人) 【オータムシーズン】 □開催日: 令和元年10月25日(金)～27日(日) □コース: 岳岱・藤里駒ヶ岳ほか □参加者: 14人(定員25人※)※千葉県豪雨 の影響で8人が直前でキャンセル	県、JR東日本	登山・トレッ キング関連 事業者、 「大人の休 日倶楽部趣 味の会」参 加者	平成31年4月1日	・本県側の白神山地なら ではのコンテンツを切り口 としたプロモーションによ り、デスティネーション(旅 行目的地)としての「あき た白神」の認知度を高め ることができた。	・国内、インバウンドを問 わず、白神山地に関する 観光コンテンツは当管内 における観光誘客の柱で あることから、引き続き関 係機関と連携したプロ モーションと誘客に取り組 む。
						平成31年4月1日～令和2 年3月31日							令和2年5月20日		

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	岡崎 佳治	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	畠中 和明	0185-55-8004	新卒者地元就職意識啓発・企業活動支援事業	若者が地元で活躍する企業を知る機会の確保や人材の確保と定着を図る取組により能代山本地域で活動する企業を支援する。	1,417,354	直営・負担金	●ふるさと企業「仕事ナビ」の作成・配布 管内企業で働く若手社員へのインタビュー記事や1日の業務スケジュール、企業概要などをまとめた冊子を作成し管内の高校生へ配布した。 □仕様:A4カラー36P、1,000部 □配布先:管内高等学校5校(2年生全員約600人)、管内支援学校高等部、県内大学、管内市町、商工団体 等 ●ふるさと企業・業種ガイダンスの開催 能代市等と連携し、高校2年生等を対象にした管内企業等の説明会を開催し高校生の地元就職の促進を図った。 □開催日:令和2年2月5日(水) □会場:能代市文化会館中ホール □参加者:高校2年生212人、民間企業33社 他 ●能代山本ふるさと起業セミナーの実施 首都圏在住で将来Aターン等により地元での起業を目指す方を対象に、起業家意識の醸成と起業に必要な基礎知識等の習得を図るための起業セミナーを首都圏で開催した。 □委託先:能代商工会議所 □開催日:令和2年2月8日(土) □会場:アットビジネスセンター池袋駅前本館(東京都) □参加者数:6名 ●能代山本関東企業懇談会の開催 管内市町と連携し、誘致企業やその本社・親会社等との交流を深めて結びつきを強め、事業縮小を防ぎ、雇用維持を図るための懇談会を開催した。 □主催:能代関東企業懇談会実行委員会(能代市、藤里町、三種町、八峰町、振興局) □開催日:令和元年10月30日(水) □会場:アルカディア市ヶ谷(東京都) □参加者:111名(企業81名、県市町30名) ●中学生向け企業説明会 生徒が幅広い業種の地元企業等から直接説明を受ける機会を得ることで、地元での仕事の内容や地域との関わりを知り、地域で働くことの意義を考え、将来、より具体的なイメージをもって進路選択出来るようにすることを目的に開催した。 □開催日:令和元年11月19日(火) □会場:能代市文化会館 □参加者:能代市内の中学2年生347名、民間企業19社他	県、市町、商工団体等	高校生等	平成31年4月1日	・「仕事ナビ」やふるさと企業・業種ガイダンスにより企業情報の発信を行うことで、学生に多くの管内企業を知ってもらい、将来の県内定着への意識づけが図られた。また、離職防止のため、就職前に十分に仕事内容をイメージする機会を設けることができた。	・全国的な人手不足の状況の中で地元定着率を向上させるためには、地元の企業情報を早い段階から提供していくことも重要であることから、市町や関係団体等と連携した取組を今後も続ける。
						平成31年4月1日～令和2年3月31日							令和2年5月20日	・ガイダンスやセミナーについては、会場での参加者の声や来場者アンケートによると大変好評であり、学生、企業双方から事業の継続・拡充を求められている。	

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
福祉環境部	永井 伸彦	企画福祉課	調整・障害 者班	佐藤直子	0185-55- 8023	地域の障害者支援体制強化事業	管内の障害福祉サービスを はじめとする公的支援 窓口を周知するとともに、 関わりを持った機関から 支援関係者に確実につな いでいく支援関係者同士 の顔の見える体制づくりを 進める。	393,850	直営	●精神障害者と家族のための情報発信 ・障害福祉サービスの利用等、様々な相談窓 口へのつながりを促進するためのリーフレット 「精神保健福祉に関する支援がにつながるばす ぽーと」の作成、配布 □仕様: A3両面三つ折り、カラー版 □部数: 6,000部 ・新聞広告を通じた精神障害の早期発見・治 療の啓発活動 □北羽新報への記事掲載(5回: 令和元年10 月27日、11月3日・10日・17日・24日の日曜日に掲載)	県	管内の精神 障害者及び その家族、 地域住民 (購読者)	平成31年4月1日	・関係機関や当事者の協 力を得て、精神障害者の 「医療」「生活を支える」 「居会場・交流」に関する 横断的な相談窓口情報を リーフレットにして周知し、 活用できるようにした。 ・新聞広告を通じた情報 発信では、購読率が9割 以上の地元紙への連載に より、広く、精神障害に係 る早期受診・相談等を普 及啓発することができたも のと思っている。	・リーフレットは管内約110 機関・団体に配付済だ が、今後も支援情報を必 要とする障害者等に行き 渡るよう、各機関における 相談活動をはじめ、管内 市町(自立支援医療申請 窓口)や医療機関等を通 じて周知、配付をしてい く。
						平成31年4月1日～ 令和2年3月31日				●精神障害者・家族・関係者のワークショップ 「親亡きあとを考える」の開催 □開催日: 令和元年12月11日(水) □会場: 能代市在宅障害者支援施設とらいあ んぐる □参加者: 35名(障害者5、家族22、関係者8) ●ヘルプマーク・ヘルプカードPRキャンペーン の実施 □回数: 3回: 令和元年7月17日(水)・19日 (金)・23日(火) □会場: JCHO秋田病院、能代山本医師会病 院、能代厚生医療センター □配布数: 500(うち、ヘルプマーク交付28件、 ヘルプカード交付19件につながる)		管内の精神 障害者及び その家族、 関係機関	令和2年5月20日	・当初の計画を上回る申 込みがあり、アンケートで は、精神障害者やその家 族同士が語り、つながる 場となり、今後の対策とし ての必要性を認識する機 会となった。	・精神障害者と家族のた めの情報発信事業におい ては、QRコードも案内し ており、美の国あきたネッ トにて引き続き揭示し、周 知を図っていく。
												管内の障害 者等、地域 住民		・多くの来院者や職員等 への周知が図られ、希望 者にはその場でヘルプ マーク(カード)を交付す ることができ、認知度の向上 につながったと思われる。	・既存事業を活用し、継続 的な取組の可否を検討し ていく。

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
福祉環境部	永井 伸彦	健康・予防課	健康・予防班	久米帽子	0185-52-4333	心の健康づくりボランティアスキルアップ事業	心の健康づくりボランティア個人のスキルアップ及び団体活動の活性化により、自殺率の減少を図る。	97,163	直営	●「心の健康づくりボランティア」スキルアップ研修会の開催 □開催日: 令和元年12月25日(水) □会場: 能代市文化会館中ホール □参加者: 心の健康づくりボランティア、市町担当者42名 ●管内市町自殺予防担当者による意見交流会(第1回) □開催日: 令和元年9月5日(木) □会場: 福祉環境部大会議室 □参加者: 市町、保健所担当者8名 ●管内市町自殺予防担当者による意見交流会(第2回) □開催日: 令和2年2月10日(月) □会場: 福祉環境部大会議室 □参加者: 市町、保健所担当者8名	県	地域住民	平成31年4月1日	・アンケートでは、「連携の必要性を感じた」「グループワークをとおして他の団体のサロンの様子を知ることができて参考になった」等の声が多数あり、管内の団体間の交流を促すことができた。 ・管内の平成30年自殺者数は19人で、平成29年よりも15人減少している。研修会の開催により、ボランティア個人のスキルアップと団体活動の活性化を図ることができたと考えられる。 ・市町担当者との意見交換をとおして、各市町の取組や課題を共有することができた。 ・八峰町主催の広域相談会について、他市町、保健所が共催する形となり、それぞれの取組や課題を共有することができた。	・アンケートより、「もっとグループワークの時間がほしかった」「もっと先生の話を聞きたかった」等の声があり、今後も研修会や交流会等の企画を検討していく。 ・意見交換会は継続したいと考えている。また、八峰町主催の広域相談会について、相談者の申し込みが少なかつたため、地域住民への周知方法について検討していく。
						平成31年4月1日～令和2年3月31日							令和2年5月20日		
農林部	山崎 司	農業振興普及課	担い手・経営班	熊谷 千尋	0185-52-1241	高校と連携した農業人材・労働力確保対策事業	管内の高校生とその保護者に対して就農に関するセミナー、就業体験等を実施し、職業選択肢の一つとしての農業の意識付けを図る。	174,076	直営	●アグリセミナー「農業を仕事にしよう!!」職場見学 農業法人を訪問し、業務内容、雇用条件等の説明、職場見学の実施 □開催日: 令和元年6月24日(水) □視察先: (株)ミツ農研、(有)峰浜培養、(株)真瀬ファーム、(農)轟ネオファーム、朝場畜産 □参加者: 能代西高校2年生13名 ●地域農業体験研修 地域農業理解、職場を理解するためのグループ別の農業体験(1日) □開催日: 令和元年9月27日(金) □会場: (有)大和農園、(農)轟ネオファーム、朝場畜産 □参加者: 能代西高校2年生12名 ●地域農業インターンシップ研修 仕事内容、職場をより理解するための夏休みを利用した長期インターンシップ □開催日: 令和元年7月29日(月)～8月2日(金) □会場: (農)轟ネオファーム、朝場畜産 □参加者: 能代西高校2～3年生4名	県	高校生等	平成31年4月1日	・非農家出身の生徒が多く、自営はハードルが高いが雇用就農という職業選択肢があることを周知する機会となった。 ・具体的に就農希望を持っていない生徒についても、インターンシップを今後の学習や進路に生かしたいと考える生徒が多い。	・本人が雇用就農を希望しても、親が反対する場合も多く、親への啓発が必要である。 ・雇用就農の場合、高校生は正職員を希望しているが、管内の農業法人では正職員の登録が少なく、雇用する側の環境整備が必要である。 ・今後も引き続きインターンシップ等で高校生と農業法人との関わりを持ちながら就農啓発をしていきたい。
						平成31年4月1日～令和2年3月31日							令和2年5月20日	・受入先からも、農業の仕事を理解してもらえて良かった。将来従業員になって欲しい、との声があり期待が大きい。 ・インターンシップでは、3年生も2名参加し、うち1名は未来農業のフロンティア研修生となり、2年後に雇用就農予定である。	

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
農林部	山崎 司	農業振興普 及課	産地・普及 班	齋藤 明子	0185-52- 1241	白神ラムブランド化支援 事業	取引先等のシェフを招聘し、白神山麓の自然環境を肌で感じてもらいながら取引の安定・拡大を図るとともに、地域を対象にした賞味会を開催して地元消費拡大を図る。また、白神ラムの販路拡大を目指す。	300,000	負担金	●白神ラム賞味会の開催 □主催: 白神ラム丸ごと売り込み協議会(構成員:(株)藤里開発公社、藤里町、県) □開催日: 令和元年10月10日(木) □会場: ホテルゆとりあ藤里 □参加者: 山本地区住民90名	県、白神ラム丸ごと売り込み協議会	レストラン関係者等	平成31年4月1日	・賞味会には、町内外から90名の参加があり盛会であった。東京の四川料理店のシェフによる白神ラムの中華料理は、これまで地元でこのような形で提供されたことがなく、大変好評であった。この賞味会は、山本地域内での白神ラムの認知度向上につながったと考えられる。	・取り扱い業者への聞き取りから、白神ラム生産を現行の出荷頭数100頭を150頭程度まで増やすことが可能であることが分かったため、一旦肥育向けの頭数を減らし、繁殖用にまわすことにより、今後の出荷頭数の増加を目指す。
						平成31年4月1日～ 令和2年3月31日							令和2年5月20日		
農林部	山崎 司	森づくり推 進課	林業振興班	虻川 寛明	0185-52- 2181	ナラ枯れ被害対策と地域ナラ材の菌床原料オガ粉としての実用化	ナラ枯れ被害防止に有効な広葉樹林伐採(更新伐)の推進と、地域ナラ材の菌床原料オガ粉としての早期実用化を図る。	43,200	委託	●更新伐の推進に向けた取組 八峰町内の大規模森林所有者や森林組合等を対象に更新伐を周知するとともに、ナラ材の安定供給体制に向けた検討会を開催した。 □開催日: 令和元年11月27日(水) □会場: 八峰町役場 大会議室 □参加者: 13名(白神森林組合、生産森林組合、(有)峰浜培養、八峰町、県)	県、有限会社峰浜培養	大規模森林所有者、森林組合等	平成31年4月1日	・八峰町産ナラを使用した菌床しいたけ栽培の実証試験を行ったところ、通常の栽培方法と比較し収量及び品質とも遜色ないことが確認された。	・菌床の原料となる地域ナラ材の安定供給を図るため引き続き森林所有者に対し座談会等を通して更新伐の計画・実施を働きかけるとともに、オガ粉生産施設の導入に向けた検討を進めていく。
						平成31年4月1日～ 令和2年3月31日							令和2年5月20日		

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
建設部	伊藤 邦昭	企画・建設課	企画管理班	佐々木順一	0185-52-6101	建設産業の「魅力・やりがい」発信事業	管内の中学生や高校生を対象に建設産業の「魅力・やりがい」を発信するほか、管内建設業に就職した若手技術者の定着をはかる。	337,430	委託・直営	●高校生を対象とした建設現場見学会 管内建設系学科の高校生を対象とした現場見学会を開催し、建設業の魅力を発信した。 □開催日: 令和元年11月12日(水)能代工業高校向け、同11月26日(火)能代西高校向け □視察先: 荷上場バイパス(西目屋二ツ井線)、三種川河川改修、小繋トンネル(日治道)ほか □参加者: 8名(能代工業高校建設科)、10名(能代西高校総合学科) ●高校生向けドローン体験会 管内の建設系学科の高校生を対象に建設現場の最新技術体験機会の提供。 □委託先: 大森建設株式会社 □開催日: 令和元年6月19日(水)能代工業高校向け、同6月20日(木)能代西高校向け □会場: 能代西高校運動場 □参加者: 16名(能代工業高校建設科)、9名(能代西高校総合学科) ●建設産業の魅力発信 「中学生ふるさと企業説明会」への参加「能代山本ふるさと企業『仕事ナビ』」の活用により、建設産業の魅力を発信した。 ●若手技術者が参加する「管内建設業若手技術者合同研修会」の開催 地元建設業に就職して3年以下の若手技術者の定着を目的とする合同研修会を開催した。 □開催日: 令和元年5月9日(水) □会場: 山本地域振興局大会議室ほか □参加者: 14名	県・一般社団法人能代山本建設業協会	高校生等	平成31年4月1日	・普段目にすることが出来ない建設現場や技術に触れることで、興味をもってもらうことが出来た。 ・これまで現場でどういったことをしているのかは分からなかったという声もあり、情報発信の重要性を確認した。 ・若手技術者の合同研修会では、会社の枠を超えた交流を行うことでそれぞれのモチベーションを高めた。	・建設産業に対するイメージが悪い・関心が無い等の理由から進路の選択肢に上がらない現状がある。 ・建設産業を正しく理解してもらうための情報発信に引き続き取り組む必要がある。
						平成31年4月1日～令和2年3月31日				令和2年5月20日					